

平成30年度 学力向上プラン

深谷市立榛沢小学校

R

分析

全国学力・学習状況調査より

- ・国語では、目的や意図に応じて、内容の中心を明確にして詳しく書く問題に課題があった。
- ・算数では、棒グラフと帯グラフを読み取る問題と円周率についての知識や理解に課題があった。
- ・理科では、回路を流れる電流の流れ方や検流計の針の向きと目盛りを読み取る問題について課題があった。

埼玉県学力・学習状況調査より

- ・小学校4年生：国語の段落構成に気をつけて自分の考えを書く問題（記述式）に課題があり、国語以外の教科領域での言語活動の充実を図る。また、良い文例を紹介したり、視写したりするなどして指導にあたる。
- ・小学校4年生：算数の数学的な考えを書く問題（記述式）に課題があり、算数以外の教科でも自分の考えが式と言葉を使って正しく文章が書けるよう取り組む。
- ・小学校5年生：国語の「文章を読み直し、適切な表現に直す」と「目的に応じて理由をあげながら自分の考えを明確に書く問題（記述式）に課題があり、主語と述語との関係や文章が正しく書けるよう、作文指導などに力を入れて取り組む。
- ・小学校5年生：算数の数学的な考えを書く問題（記述式）に課題があり、解決した結果をしっかりと振り返らせ、考察する活動を算数以外の教科でも積極的に取り組む。
- ・小学校6年生：国語の書く能力（記述式）に課題があり、修飾語と被修飾語の関係を理解したり、必要な文を書き出したりするなど、書く力を伸ばせるように取り組む。
- ・小学校6年生：算数の数学的な考えを書く問題（記述式）に課題があり、普段の授業から、日常の事象や図形など算数の内容と関連づけるとともに、問題を算数の用語を用いてことばや式を使って表現する活動を繰り返し行う。

NRTより

- ・国語の5段階分布での上位層（4・5）は、53%を占めることができたが、最下層（1）は、0%であった。しかし、段階2が29%、段階3が18%であった。
- ・算数では、上位層（4・5）は、47%を占め、最下層（1）は、11%であった。段階2と3ともに、11%であった。



【平成34年度までの目標】

- 全国学力・学習状況調査の平均正答率において、すべて県平均を上回る。
- 県学力・学習状況調査の平均正答率において、すべて県平均を上回る。
- NRTで偏差値50を上回り、アンダーアチーバーをゼロにする。

【来年度に向けての数値目標】

	国語		算数		
4 学年	上 35.7% ⇒ 50%		上 21.4% ⇒ 30%		
県学調	下 0% ⇒ 0%		下 0% ⇒ 0%		
5 学年	上 21.9% ⇒ 40%		上 31.3% ⇒ 40%		
県学調	下 6.3% ⇒ 3.2%		下 9.4% ⇒ 3.2%		
6 学年	上 16.7% ⇒ 30%		上 20% ⇒ 30%		
県学調	下 3.3% ⇒ 0%		下 0% ⇒ 0%		
	国語A		算数A		理科
6 学年	上 60% ⇒ 70%		上 46.7% ⇒ 60%		上 26.7% ⇒ 50%
全国学	下 3.3% ⇒ 0%		下 3.3% ⇒ 0%		下 0% ⇒ 0%
	国語B		算数B		
6 学年	上 23% ⇒ 30%		上 6.7% ⇒ 30%		
全国学	下 3.3% ⇒ 0%		下 20% ⇒ 3.3%		

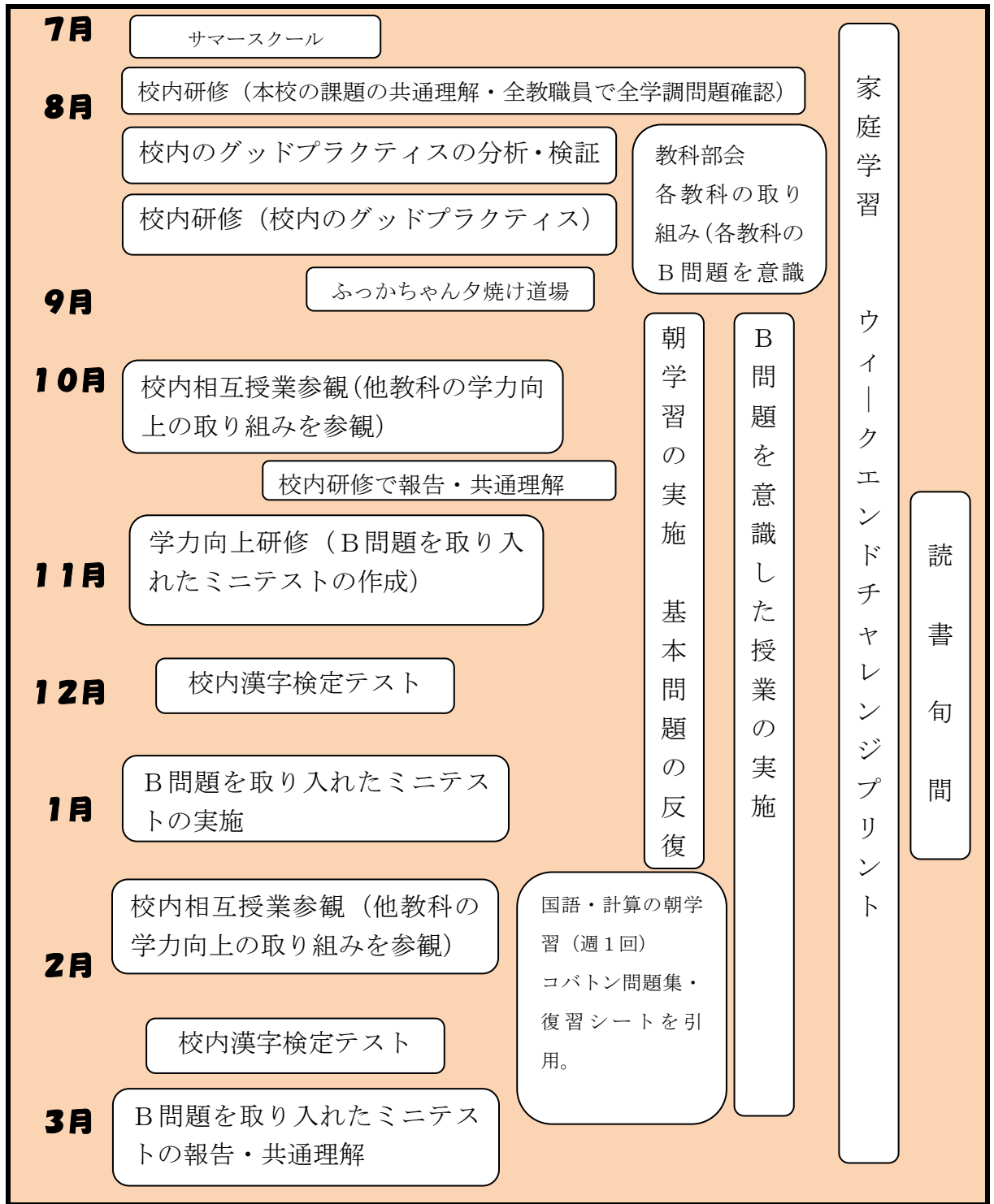
※上位層＝正答率 75%以上、中位層＝正答率 75%未満 25%以上、下位層 25%未満
参考 第2期深谷市教育振興基本計画より

指標名		現状値 [H30(2018)年度]	目標値 [H34(2022)年度]
全国学力学習状況調査の正答率において、県平均を上回った学校の割合	小学校	44.7%	58.0%
	中学校	32.5%	55.0%

【次年度に向けての重点計画】

- ・過去のB問題を授業や家庭学習に取り入れる。
- ・校内のグッドプラクティスを分析・研修し、相互授業参観を行い、授業力を高める。
- ・前学年の復習を家庭学習でも取り入れ、児童の躓きに気づいたり、支援したりすることで基礎基本を大切にする。

D
実行



C

全国学力・学習状況調査 埼玉県学力・学習状況調査

NRT NINO

A